静岡大学大学院自然科系教育部
（創造科学技術大学院）

学位論文審査基準

令和２年 11 月６日
創造科学技術大学院教育部・研究部教授会　承認

学位審査に当たっては、学位申請者が本学大学院自然科学系教育部の定める学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を満たしていることを前提とする。また、学位申請者が学術研究における倫理性を有していることを条件とする。

学位論文審査基準

以下に掲げる６つの基準により、博士論文として適格であるかどうか、主査１人、副査３人以上、計４人以上の審査委員により審査を行う。審査委員には、論文提出者の研究分野と隣接あるいは異なる分野を専門とする審査委員を含めるよう配慮し、多様な立場から審査を行う。論文提出後に予備審査及び最終試験（口頭試問）を実施することとし、論文内容並びに当該試験における発表内容と質疑応答の結果を合否判断の参考とする。

1. 課題設定の明確化

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義及び必要性が述べられていること。

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置付けがはっきりしていること。

3. 研究方法の妥当性

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

4. 論証方法や結論の妥当性と意義

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

5. 論文構成・表現・表記法の適切性

学術論文としての論理構成・語句の使い方や文章表現が適切であること。

6. 学術的または社会的な貢献

学術的に新規性または独創性があり、学術または技術の発展に資する、または社会の要請に応えるものであること。